

平成29年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立南稜高等学校)

目指す学校像	明るく伸びやかな校風のもと、生徒たちが豊かな心を育み、高い目標に向かって意欲的に活動する学校を目指します。
--------	---

重点目標	1 生徒の家庭学習習慣の確立と、教員の授業改善に向けた取り組み 2 学校行事や部活動などを通じて自律的、主体的に行動できる生徒の育成 3 キャリア教育の推進と、生徒一人一人の希望する進路の実現 4 家庭・地域との幅広いネットワーク作りと、学校からの情報発信体制の整備
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				最 終 評 価 (1月25日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業満足度や授業への取組は良好な状態が継続できている。また、家庭学習時間は改善傾向にあるものの、まだ、充分でない。授業改善に向けた取り組みとしては、生徒の主体的な学習法であるアクティブラーニングを取り入れていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を含む家庭での学習習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業で予習、復習の必要性を指導する。 ② 部活動との両立を考慮し、隙間時間の活用を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 1,2年の平日、授業や進学セミナー以外の学習時間30分以上の割合が50%以上 3年は、2時間以上の割合が30%以上 ② 隙間時間を活用している割合が30%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習習慣について評価指標は超えたものの、0時間の生徒が約4割おり、その確立は不十分である。 ① 1,2年(30分以上) 58.4% 3年(2時間以上) 30.2% ② 隙間時間の活用 32.9% 	B
		<ul style="list-style-type: none"> 授業改善の1つとして、アクティブラーニングを適宜活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 対話的な学習方法を取り入れる。 ② アクティブラーニングに関する職員研修会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の授業満足度が75%以上 ② 職員研修会を実施できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 未来「学び」研究開発員や初任者を中心に「アクティブラーニング」に適宜取り組んでいる。 ① 生徒の授業満足度 77.2% ② 教科ごとに研修会を6月中旬、11月中下旬に実施 	A
2	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導により、遅刻者数が減少している。今後、身だしなみや交通安全の指導を根強く継続していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 制服と上履きの正しい着用と交通安全の指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全教職員で、身だしなみ指導を行う。 ② 登校指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月1回(7・12月を除く)、身だしなみ指導を実施できたか ② 年7回、登校指導を実施できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 制服等の正しい着用と交通安全の指導は計画通り実施できた。 ① 身だしなみ指導は月1回実施 ② 登校指導も年7回28日実施 	A
3	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標を早めに定め、1年から将来を見据えた進路活動ができるようになり、進路実績も向上している。キャリア教育の全体計画に基づき、生徒が希望する進路を実現させることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1志望の進路を実現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 分野別説明会や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ② 保護者対象の進路説明会や3者面談を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の進路指導満足度が70%以上 ② 保護者の進路指導満足度が60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 分野別説明会、進路ガイダンスや保護者対象の進路説明会を予定通り実施し、第1志望の進路実現につなげている。 ① 生徒の満足度 82.6% ② 保護者の満足度 82.1% 	A
		<ul style="list-style-type: none"> 専門家だけでなく卒業生を講師として招き、キャリア教育の講演会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① キャリア教育講演会を計画的に開催する。 ② 卒業生を講師とした進路講演会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① キャリア教育講演会を年6回開催できたか ② 生徒の卒業生による講演会の満足度が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 予定通りキャリア教育講演会を開催し、生徒の進路意識の向上が見られる。 ① 講演会を6回実施 ② 卒業生による講演会の満足度 97.8%(3月20日現在) 	A
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者の協力関係は極めて良好である。また、PTA総会や理事会において、生徒の活動発表等を行い、PTA行事の活性化を推進している。今後は、一般会員の参加とともに、学校の教育活動のさらなる情報発信を行っていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を含めた教育活動を広報する学校NEWSの発行や、非常時に対応できるメール配信を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 広報誌(なんりょう)を発行しない月に、学校NEWSを発行する。 ② 非常時に対応できるメール配信システムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校NEWSの発行回数が年7回以上 ② メール配信システムを構築できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりについては、「南稜の風」と命名し、本校の教育活動を広報した。また、メール配信システムについては、テスト配信を終え、実運用している。 ① 学校だよりを7回発行 ② メール配信システムを7月に構築し、台風時2回発信 	A

学校関係者評価	実施日 平成30年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 隙間時間の活用の指導はありがたい。 時間の使い方のメリハリが大事である。 キャリア教育も行っているが、何のために勉強するのか、勉強する意義を生徒に教えていかなければならない。 親しみが持てる授業だから、生徒の授業満足度が高い。 アクティブラーニングを実施するに当たっては、自由に発言できる環境が大切である。 身だしなみはきちんとしているし、あいさつもしっかりできている。 身だしなみについて、大人と子供の間で感覚の違いがある。その違いを埋めていくことが大切である。 注意する先生の前だけ、正しく着用している。 朝早く登校して、勉強している生徒がいる。勉強に取り組む雰囲気がある。また、朝セミナーを行ってくださる先生もいる。 保護者向けの進路説明会を、1年1学期に開催してほしい。 3年学年末考査の実施、三送会の開催時期を検討してほしい。 卒業生による講演会は、子どもたちにとって刺激や参考になると思う。 文系・理系の区別が明確でない職業や大学の学部があるので、広く浅く勉強する必要がある。 学校だより等のホームページ掲載を検討してほしい。 メール配信については、ありがたい連絡方法であるが、クラス別に配信するなど、もっと有効活用できないか。また、荒天時の始業時間変更だけでなく、配信の機会を増やすことも検討してほしい。